

# チョウが海を渡る？

～アサギマダラの渡りと省エネ飛翔の謎に迫る～

アサギマダラは渡り(長距離移動)をするチョウとして知られています。春には南西諸島から日本列島を北上し、世代交代して秋には南下していきます。もちろん、ここ愛媛県を含む四国もその渡りルートの一部(停車駅)です。近年ではTV番組でも取り上げられ、マーキング活動などを通じて全国の愛好家や市民に親しまれています。今回のサイエンスカフェでは、四国を中心とした15年余りの調査結果をもとに解明されてきた渡りルートを紹介するとともに、風を利用して優雅に飛翔する「省エネ飛翔」の謎に迫る高校生たちの課題研究の一端も紹介します。



日時 令和4年

11月8日(火)

19:00～20:30

会場 愛媛大学 松山市文京町3番

E.U. リージョナルcommons 愛称「ひめテラス」  
(日赤の向かい、正門左隣りの新しい建物)1階

対象 自然に関心がある方30人  
参加無料

Web  
申し込み



【お申し込み】お名前、住所(都道府県・市町村・町名まで)、e-mailアドレス、会場参加/YouTubeLive視聴のいずれを希望するかを明記のうえ、下記e-mailアドレスへ。

(個人情報とは適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO法人 森からつづく道  
(松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

【主催】NPO法人森からつづく道

【後援】愛媛大学ミュージアム



滑空中

◆話題提供 若山勇太さん

県立学校の生物教員として2005年からアサギマダラの調査・研究に携わり、現在は愛媛県立松山南高等学校に勤務し、高校生の課題研究を指導している。近年は、アサギマダラの飛翔メカニズム、里山の生物多様性、疾病媒介蚊に関する課題研究の指導に当たっている。日本生物教育学会四国支部事務局、NPO法人森からつづく道会員



セイタカアワダチソウに訪花(雌)



体温計測中!